人文学部創立30周年記念品について

人文学部は平成20年に創立30周年を迎えました。鴻文会では、同年5月24日開催の第35回役員会で、そのための記念事業として30万円の予算を計上することを決定しました。具体的に何をするかについては、この役員会の席で植樹、掛け時計、外灯などいくつも案が出ましたが一つにまとまらず、人文学部当局の意向も伺って決めるよう学内幹事に一任されました。その後鴻文会名誉会長の湯川人文学部長などにご相談し、人文学部の中庭に外灯を設置することに致しました。ところが人文学部がある山口大学吉田キャンパスは敷地全体が遺跡の保存地区に指定されていて、外灯の設置工事に際しても事前に発掘調査を済ませていなければならないことがわかりました。その発掘調査も他の工事との関連で数ヶ月の順番待ちとなり、平成21年5月にようやく設置工事が完了しました。

吉田キャンパス内には各所に外灯が立てられていますが、たまたま人文学部の中庭は外灯がなく、周りの建物の部屋の明かりや遠くの外灯だけが頼りで、そこを通る際には誰もが不便を感じていました。今では創立30周年記念の外灯が中庭全体を明るく照らしていて、行き交う人たちに感謝されています。

人文学部創立三十周年記念鴻文会寄贈